

Pagah & Funairi high school 2021 Jan sessions
ペガン高校(アフガニスタン)と舟入高校の戦争と平和に関する
オンラインディスカッション

現在、舟入高校ではよりグローバルな視点で世界を見ることができるよう、これまであまり交流のなかった地域の学校とも交流をすすめています。その交流の一環として、1月15日、18日、22日、29日の4回にわたって、本校の1～3年生の希望生徒が、アフガニスタンの首都、カブールにあるペガン高校と、オンラインで、平和に関する交流会を行いました。



首都カブールはヒンドークシュ山脈の南縁、カイバル峠の麓のカーブル川沿いの狭小な丘陵に位置する標高約1800メートルの町。3000年以上の歴史を持ち、古くから"文明の十字路"と呼ばれた。現在、数十年続いた戦災からの復興の途上にある。

【交流の概要】

いずれも16時から1時間～1時間半程度

1月15日(金) 第一回 アイスブレイク中心

1月18日(月) 第二回 文化・伝統の紹介/教育制度

1月22日(金) 第三回 平和や戦争に関する過去の歴史

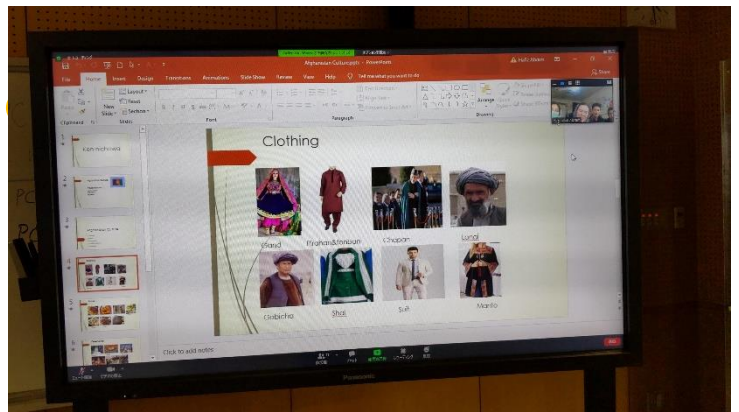
1月29日(金) 第四回 平和や戦争とこれからの未来

【実際に参加した生徒の感想】



ペガン高校の生徒と、互いの国の文化や食べ物の紹介に始まり、「戦争」や「平和」について英語でディスカッションをしました。

伝統的な服なども紹介してもらい、よりアフガニスタンを身近に感じるようになりました。



毎回、お互いの学校でプレゼン資料を作成し、互いの国について理解を深めました。

国際理解の大事な要素の1つに、「自文化理解」があります。プレゼンを通して、日本史や世界史の教科書を読み返したりして、改めて「日本という国」について学ぶことができました。また、アフガニスタンの生徒から「日本はどうやってそこまで復興したの?」という質問を受け、その答えを探る中で戦後の苦しい状況の中で先人たちがどんな取り組みをしてきたのかに思いを馳せました。今後も様々な国の人々と交流を続け、視野を広げていきたいです。

